

(案)

東松山市の地域福祉に関する市民アンケート 調査ご協力のお願い

市民の皆様におかれましては、日頃より市政に対してご理解・ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

東松山市及び東松山市社会福祉協議会では、誰もが住み慣れた地域で安心していきいきと暮らせるまちづくりを進めるため、「第三次東松山市地域福祉計画」「第三次東松山市地域福祉活動計画」の策定に取り組んでいます。

これらの計画の策定にあたり、「地域福祉」に関する市民の皆様のご意見やお考えを広くお聞きしたいと考え、アンケート調査の対象として、市内にお住まいの2,000人の方を無作為に抽出させていただきました。

ご記入いただいた内容については、すべて統計的に処理しますので、調査票にお名前を記載する必要はございません。

社会状況が変化する中で、地域の多様な生活課題に対応していくためには、市民・関係機関・行政の連携づくり、地域住民がお互いに助け合い、支え合うことのできる仕組みづくりが不可欠です。

ご多用の折恐縮ですが、アンケート調査の趣旨をご理解の上、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和6年●月

東松山市長 森田 光一

東松山市社会福祉協議会会長 金子 守

地域福祉とは？

子どもの登下校、災害時の対応、外出したくても交通手段がないなど…ふだんの生活の中で、ちょっとした不安や不便を感じたことはありませんか？

「地域福祉」とは、そうした地域の生活課題を市民が自ら把握し、関係機関や団体、行政と連携しながら、解決に向けて活動していくことをいいます。近所の人にあいさつする、子どもの安全を地域で見守ることなども、地域福祉の活動の一つです。

記入についてのお願い

- ① あて名のご本人がお答えください。ただし、心身の状況などにより記入が困難な場合は、ご家族の方などが代筆していただいても差し支えありません。
- ② お答えは、あてはまる番号を○で囲んでください。
- ③ 質問によって、○をつける数を指定しておりますので、その範囲内でお答えください。
- ④ 「その他」を選択された場合は、内容を具体的にご記入ください。
- ⑤ 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印(→)に沿ってお答えください。また、注意書きをよくお読みください。

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、○月○日(○)までにご返送(切手不要)いただくか、市役所社会福祉課、市民福祉センター又は各地区市民活動センターまでご提出ください。

【問合せ先】東松山市役所 健康福祉部 社会福祉課

電話：0493-21-1455 (直通)

FAX：0493-24-6066

メール：HMY033@city.higashimatsuyama.lg.jp

1 あなた自身のことについて伺います

【Q1】あなたの性別は。(該当する番号1つに○)

1. 男	2. 女	3. その他
------	------	--------

【Q2】あなたの年齢は。(該当する番号1つに○) ※令和6年1月1日現在

1. 10代	2. 20代	3. 30代	4. 40代	5. 50代	6. 60代	7. 70代	8. 80代以上
--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	----------

【Q3】あなたの職業は。(該当する番号1つに○)

1. 自営業	2. 会社員	3. 公務員
4. 家事・育児・介護に専業	5. パート・アルバイト	6. 契約社員・派遣社員
7. 学生	8. 無職	9. その他 ()

【Q4】あなたのお住まいの地区は。(該当する番号1つに○)

松山地区	1. 本町	2. 神明町	3. 箭弓町	4. 材木町	5. 松葉町
	6. 日吉町	7. 加美町	8. 松本町	9. 松山	10. 松山町
	11. 市ノ川	12. 御茶山町	13. 六反町	14. 六軒町	15. 五領町
	16. 新宿町	17. 山崎町	18. 小松原町	19. 砂田町	20. 美土里町
	21. 和泉町	22. 幸町	23. 美原町		
平野地区	24. 東平	25. 野田	26. 沢口町	27. 殿山町	
大岡地区	28. 大谷	29. 岡			
唐子地区	30. 下唐子	31. 石橋	32. 葛袋	33. 神戸	34. 上唐子
	35. 新郷				
高坂地区	36. 高坂	37. 早俣	38. 正代	39. 宮鼻	40. 毛塚
	41. 田木	42. 岩殿	43. 西本宿	44. 大黒部	45. 元宿
	46. あずま町				
高坂丘陵地区	47. 桜山台	48. 白山台	49. 旗立台	50. 松風台	
野本地区	51. 上野本	52. 下青鳥	53. 上押垂	54. 下押垂	55. 今泉
	56. 古凍	57. 柏崎	58. 若松町	59. 下野本	

【Q5】あなたは、東松山市に住んで何年になりますか。(該当する番号1つに○)

- | | | |
|--------------|---------------|-------------|
| 1. 1年未満 | 2. 1年以上2年未満 | 3. 2年以上5年未満 |
| 4. 5年以上10年未満 | 5. 10年以上20年未満 | 6. 20年以上 |

【Q6】あなたの世帯の状況は、次のどれにあたりますか。(該当する番号1つに○)

- | | |
|------------------|----------------------|
| 1. 一人暮らし | 2. 夫婦のみ |
| 3. 2世代世帯(夫婦と子など) | 4. 3世代世帯(祖父母・父母・子など) |
| 5. その他() | |

【Q7】あなたのお住まいについてお聞かせください。(該当する番号1つに○)

- | | | |
|--------------|--------------|-------------|
| 1. 持ち家(一戸建て) | 2. 持ち家(集合住宅) | 3. 借家(一戸建て) |
| 4. 借家(集合住宅) | 5. その他() | |

【Q8】あなたを含め、同居者に次のような方はいますか。(該当する番号すべてに○)

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 妊婦 |
| 2. 乳幼児(0～6歳) |
| 3. 小学生 |
| 4. 介護保険の要介護・要支援認定を受けている方 |
| 5. 障害者手帳を持っている方 |
| 6. 外国籍の方で、日本語や習慣がわからない方 |
| 7. 不登校の方 |
| 8. ひきこもりの方 |
| 9. 上記1～8以外で、病弱や高齢のため日常的に支援を必要としている方 |
| 10. いない |

【Q9】あなたは日頃、どのような悩みや不安を感じていますか。

(該当する番号すべてに○)

1. 自分の健康に関して (食事、運動など)
2. 家族の健康に関して (食事、運動など)
3. 子育てに関して (家族等の周囲の協力、子どもとの接し方など)
4. 介護に関して (家族等の周囲の協力、ダブルケア、8050問題など)
5. 経済面に関して (就労、住まい、家計など)
6. 自分や家族の生活に関して (進学、就職、結婚など)
7. 近所との関係に関して (防犯防災、ごみ、騒音など)
8. その他 ()
9. 特にない

2 地域での支え合い・助け合いについて伺います

【Q10】あなたは、ご近所と日頃どのくらいのお付き合いがありますか。

(該当する番号1つに○)

1. 困っているときに、相談や手助けができる
2. 簡単な頼みごと程度ならできる
3. たまに世間話や立ち話をしている
4. 顔を合わせればあいさつする程度
5. ほとんど付き合わない
6. その他 ()

【Q11】あなたは、近所付き合いについてどのように考えていますか。

(該当する番号1つに○)

1. とても大切だと思う
2. 大切だと思う
3. 特に何も考えたことはない
4. わずらわしい
5. とてもわずらわしい

【Q12】あなたは現在、地域内の行事や自治会活動に参加・協力していますか。

(該当する番号1つに○)

- | | | |
|---------------|-------|----------------|
| 1. よく参加している | →Q14へ | 3. ほとんど参加していない |
| 2. ある程度参加している | | 4. まったく参加していない |

【Q13】Q12で「3. ほとんど参加していない」「4. まったく参加していない」と答えた方に伺います。

参加していない理由をお聞かせください。(該当する番号すべてに○)

- | | |
|------------------|------------|
| 1. 忙しくて時間がない | 2. 関心がない |
| 3. 近所付き合いがわずらわしい | 4. 声がかからない |
| 5. その他 () | |

全員の方へ

【Q14】 今後、どのような地域の活動が特に活発になると良いと思いますか。
(該当する番号3つまでに○)

1. 地域行事（お祭り、体育祭など）	2. 清掃活動
3. 花いっぱい運動	4. あいさつや声かけ推進活動
5. 防災活動	6. 防犯活動
7. 交通安全活動	8. 障害者福祉活動（障害者への配慮）
9. 高齢者福祉活動（高齢者サロンなど）	10. 子育て支援活動（子育てサロンなど）
11. 世代間の交流（若い世代と高齢者など）	12. 親睦旅行
13. その他（	）
14. 特にない	

【Q15】 あなたは、お住まいの地域（ご近所やそれよりもやや広い範囲）に愛着をお持ちですか。(該当する番号1つに○)

1. とても愛着がある	2. ある程度愛着がある
3. あまり愛着はない	4. まったく愛着はない
5. わからない	

【Q16】 あなたのお住まいの地域では、子どもや高齢者、障害者を含めて、お互いの生活を地域の中で支え合っていると感じますか。(該当する番号1つに○)

1. とても感じる	2. 少し感じる
3. あまり感じない	4. まったく感じない
5. わからない	

【Q17】日常生活において支援が必要な方が近所にいる場合に、あなたはどのようなことができますか。(該当する番号すべてに○)

1. ゴミ出しなどちょっとした日常活動の支援
2. おかずなどのちょっとしたおすそ分け
3. 病院などへ通院の付き添い
4. 一人暮らしの高齢者や障害者などの安否確認や声かけ
5. 関係機関への情報提供(通報)
6. 定期的な話し相手
7. 買い物のお手伝い
8. 短時間の子どもの預かり
9. その他()
10. 特にない

【Q18】あなたは、日常の手助けが必要となった場合に、隣近所の方に支援を頼むことについて、抵抗を感じるものがあれば教えてください。

(該当する番号すべてに○)

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. 庭の草取り | 2. ゴミ出し |
| 3. 電球交換 | 4. 家の中の片付け |
| 5. 暖房器具の準備など力の要る仕事 | 6. おかずなど、食事のおすそ分け |
| 7. 通院などの付き添い | 8. 買い物の手伝い(同行、代行) |
| 9. 安否確認や声かけ | 10. 話し相手 |
| 11. 困っているときの関係機関への連絡 | 12. 短時間の子どもの預かり |
| 13. 子どもの保育園等の送り迎え | |
| 14. その他に抵抗を感じるもの() | |
| 15. 抵抗を感じるものはない | →Q20へ |

↓
【Q19】Q18で「1.」から「14.」のいずれかを答えた(抵抗を感じるものがある)方に伺います。

隣近所の方に支援を頼むことに抵抗がある理由を教えてください。

(該当する番号すべてに○)

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. 普段からの付き合いがないから | 2. 自分や家族で何とかしたいから |
| 3. 家まで立ち入れたくないから | 4. 自分の情報が漏れることが心配だから |
| 5. その他() | |

全員の方へ

【Q20】現在、あなたの住んでいる地域の中で、どのような問題点があると思いますか。(該当する番号すべてに○)

- | | |
|---------------------------------------|-----------------------|
| 1. あいさつをしない人が多い | 2. 隣近所との交流が少ない |
| 3. 世代間の交流が少ない | 4. 気軽に集まれる場や機会が少ない |
| 5. 自治会など地域活動が不活発 | 6. 地域から孤立している人がいる |
| 7. 生活に困難を抱えた人がいる | 8. 地域課題に対する関心の低さ |
| 9. 性別や国籍などに対する偏見や差別 | 10. 住民のモラル（ゴミ、騒音など）低下 |
| 11. 災害時などの緊急対応 | 12. 地域や福祉に関する情報不足 |
| 13. 子どもや高齢者、障害者などを地域で支える体制が不十分 | |
| 14. 福祉サービス※の利用に結びついていない人がいる | |
| 15. 医療と介護が必要になっても安心して暮らせるような体制が不十分 | |
| 16. 自治会役員や民生委員・児童委員（主任児童委員含む）などの担い手不足 | |
| 17. その他（ | ） |
| 18. 特にない | |

※ 福祉サービス：本調査では、介護保険サービスや高齢者福祉サービス、障害福祉サービス、子育て支援サービスなどを総称して福祉サービスとしています。

【Q21】もしも、あなたの周辺で社会から孤立している方がいることに気づいたら、どのように対応しますか。(該当する番号すべてに○)

- | | |
|----------------------------------|---|
| 1. あいさつや声かけなどをしながら、様子を見守る | |
| 2. 民生委員・児童委員（主任児童委員含む）に連絡する | |
| 3. 市役所や社会福祉協議会、相談機関などに相談することを勧める | |
| 4. 市役所や社会福祉協議会、相談機関などへ連絡する | |
| 5. その他（ | ） |
| 6. 関わりたくない | |
| 7. わからない | |

3 ボランティア活動について伺います

【Q22】あなたは、ボランティア活動に参加したことがありますか。

(該当する番号1つに○)

- | | |
|-----------------------|-------|
| 1. 現在も参加している | |
| 2. 以前に参加したことがある(5年以内) | |
| 3. 参加したことはない | →Q24へ |

【Q23】Q22で「1. 現在も参加している」「2. 以前に参加したことがある」と答えた方に伺います。

(1) あなたは、どのような活動に参加しましたか。(該当する番号すべてに○)

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1. 子育て支援や子どもの世話 | 2. 青少年の健全育成に関する活動 |
| 3. 障害者・児の支援 | 4. 高齢者の支援 |
| 5. 文化・スポーツに関する活動 | 6. 災害救助・復興支援の活動 |
| 7. 自然や環境保護に関する活動 | 8. 国際交流に関する活動 |
| 9. 地域で行われる活動やイベントのお手伝い | 10. 健康づくりのボランティア |
| 11. その他 () | |

(2) あなたが活動に参加した理由を教えてください。(該当する番号すべてに○)

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 楽しいから、好きだから | 2. 人の役に立てるから |
| 3. 健康によいから | 4. 自分自身の向上のため |
| 5. 人間関係が広がるから | 6. 余暇を活用できるから |
| 7. その他 () | |

→Q25へ

【Q24】Q23で「3. 参加したことはない」と答えた方に伺います。

(1) あなたが活動に参加したことはない理由を教えてください。

(該当する番号すべてに○)

- | | |
|-----------------|-------------------------|
| 1. 仕事や家事で忙しいから | 2. 高齢者や病気の家族の世話をしているから |
| 3. 体が弱く、病気がちだから | 4. 活動の内容や参加する方法がわからないから |
| 5. 参加する機会がないから | 6. 自分の趣味や余暇活動を優先したいから |
| 7. 興味や関心がないから | 8. 一人で参加することに抵抗があるから |
| 9. その他 () | |

(2) 今後、ボランティア活動に参加したいと思いませんか。(該当する番号1つに○)

1. 余暇ができれば参加したい
2. きっかけがあれば参加したい
3. 興味がある活動があれば参加したい
4. 参加するつもりはない
5. わからない

全員の方へ

【Q25】ボランティア活動に参加しやすくなるために、どのような条件が特に整うと良いと思いませんか。(該当する番号3つまでに○)

1. 自分にあった時間や内容の活動であること
2. 自分の仕事や特技を生かせること
3. 友人や家族と一緒に活動できること
4. 身近な団体や活動内容に関する情報が得られること
5. 家族や職場の理解が得られること
6. 参加によるメリットがあること
7. 活動資金の援助・補助の充実
8. 自分の所属する学校や職場でボランティア活動があること
9. ボランティア講座が受けられること
10. ボランティアグループに入れること
11. 職場にボランティア休暇制度があること
12. その他 ()
13. どんな条件が整っても参加してみたいとは思わない

全員の方へ

【Q30】あなたには、困ったときに相談できる方が身近にいますか。

(該当する番号1つに○)

1. いる	2. いない	→Q32へ
-------	--------	-------

↓
【Q31】Q30で「1. いる」と答えた方に伺います。

身近な相談相手とは、どなたですか。(該当する番号すべてに○)

1. 家族・親族	2. 友人・知人
3. 近所の人	4. 自治会の人
5. 職場の人	6. 市など行政機関の職員
7. 医師、看護師など医療機関の職員	8. SNS上の知り合い
9. 学校	10. スクールソーシャルワーカー
11. 民生委員・児童委員（主任児童委員含む）	
12. ケアマネジャーやホームヘルパーなどの専門的相談職員	
13. 子ども食堂、フードバンクなどNPO団体等のスタッフ	
14. その他（	）

全員の方へ

【Q32】あなたは、福祉に関する情報をどのように入手されていますか。

(該当する番号すべてに○)

1. 広報など全戸配布の情報紙	2. 回覧板
3. 公的施設などのチラシやポスター	4. 家族・親戚
5. 友人・知人などの口コミ	6. インターネット
7. いんぷおメール	8. SNS (X、Meta など)
9. テレビ・ラジオ・新聞などのマスコミ	
10. その他（	）
11. 今は福祉に関する情報を入手する必要がない	
12. 福祉情報の入手先がわからない	

【Q33】 あなたは、「成年後見制度[※]」をご存知ですか。(該当する番号1つに○)

1. よく知っている
2. 名前は聞いたことはあるが、内容はよくわからない
3. 知らない

※ 成年後見制度：認知症、知的障害、精神障害などによって物事を判断する能力が十分でない方について、本人の権利を守る援助者を選ぶことで、本人を法律的に支援する制度です。

【Q34】 あなたは、成年後見センターを知っていますか。(該当する番号1つに○)

1. 知っている
2. 知らない

【Q35】 あなたは、自分や家族の判断能力が十分でなくなった場合に、
成年後見センターを利用したいと思いませんか。(該当する番号1つに○)

1. 利用したい
2. 利用したくない
3. わからない

【Q36】あなたは、今後地域がより住みやすくなるために、どのような市の取組が特に必要であると思いますか。(該当する番号5つまでに○)

1. 多様な分野が連携を図り、地域力を高められる支援体制の整備
2. 自治会、民生委員・児童委員など地域の関係者との連携強化
3. 地域づくりに携わる団体の連携・協働（このゆびと～まれ！フェスタなど）
4. 社会福祉法人の地域貢献の促進（彩の国あんしんセーフティーネットなど）
5. 地域活動等への市民参加の促進（シニアクラブ、認知症カフェなど）
6. 支え合い・見守り活動の充実（あんしん見守りネットワークなど）
7. 地域における介護予防・健康づくり活動の充実（きらめきサポーター養成研修など）
8. 市民の活躍の場の充実（シルバー人材センターなど）
9. 災害・犯罪に備えたまちづくりの推進（福祉避難所など）
10. 互いに尊重し、支え合う意識の醸成（きらめき出前講座など）
11. 地域福祉を支える人材の確保と育成（福祉を支えるボランティアの養成など）
12. 地域福祉を推進する人材の確保と育成（介護支援専門員のスキルアップなど）
13. 福祉サービスの充実（生活支援コーディネーターの配置など）
14. 生活困窮者等への支援体制の充実（生活保護事業など）
15. 包括的な相談支援体制の整備（総合相談センター、ひきこもり相談など）
16. 情報アクセスやコミュニケーション支援の充実（ホームページの多言語化など）
17. 権利擁護支援のための体制の充実（成年後見制度の利用促進など）
18. 虐待防止に向けた体制の充実（埼玉県虐待通報ダイヤルの周知など）
19. 人にやさしいまちづくりの推進（ヘルプマークの普及啓発など）
20. その他（)
21. 特になし

【Q37】あなたは、地域福祉を推進し、社会福祉への住民参加を促すための諸活動を行う、営利を目的としない民間組織である社会福祉法人東松山市社会福祉協議会を知っていますか。(該当する番号1つに○)

1. 名前も活動内容もよく知っている
2. 名前は知っているが活動内容はよく知らない
3. 名前も活動内容もよく知らない

→Q39へ

【Q38】Q37で「1. 名前も活動内容もよく知っている」と答えた方に伺います。あなたのご存じの活動をお答えください。(該当する番号すべてに○)

1. 市民福祉センターや各市民活動センターへの地域福祉コーディネーターの配置
2. 地域での支えあい・見守り活動
3. ボランティア活動者や地域活動者などの人材育成・発掘
4. 高齢者や障害者のための生活援助サービス
5. 高齢者や障害者の社会参加・生きがいづくり
6. 子育て支援活動
7. 健康づくり・介護予防に対する取組
8. 高齢者サロンなどの地域の中の居場所づくり
9. 地域で行われている活動のPR
10. ボランティア・市民活動への支援活動
11. 福祉の相談窓口
12. 高齢者・障害者の権利擁護支援の取組
13. 福祉に関する研修・講座の実施
14. 地域の子々な活動やイベントを通じた地域住民同士の交流の機会
15. 地域の中で安心・安全に暮らしていくためのネットワークづくり
16. 災害時の支援活動
17. その他 ()

全員の方へ

【Q39】あなたが住んでいる地区で活動する、社会福祉協議会の支部についてご存じですか。(該当する番号1つに○)

1. 名前も活動内容もよく知っている
2. 名前は知っているが活動内容はよく知らない
3. 名前も活動内容もよく知らない

《参考》 各支部の取組（令和5年度事業計画より）

支部名	事業名・事業内容
松山支部	地域住民同士の「あいさつ」励行への取組（通年）、ふれあいの集い（10月）
平野支部	子育てサロン「ぶらんこ」（毎月）、世代間交流「居場所づくり」（10月）
大岡支部	シニアフェスティバル（10月）、一人暮らしのお年寄りとの交流会（3月）
唐子支部	夏のわくわく体験（7月）、健康講座（10月）、落語「天唐亭」（11月）
高坂支部	落語「九十九亭」（9月）、高齢者見守り活動「お元気ですか」（1月）
高坂丘陵支部	子ども工作教室（8月）、福祉まつり・敬老会（10月）、落語「ふれあい亭」（12月）
野本支部	地域住民同士の「あいさつ」挨拶励行への取組（通年）、シニアいきいき講座（2月）

【Q40】社会福祉協議会の支部は、自治会を通じて集めた会費（普通会員200円）等により社協支部事業を実施していますが、このことをご存知ですか。
（該当する番号1つに○）

1. 知っている

2. 知らない

【Q41】あなた自身がお住まいの地域のために、できることや、やってみたいことなどがありましたら、ご記入ください。（自由記載）

ご協力いただきまして、ありがとうございました。

記入した調査票は3つ折りにして、同封した返信用封筒に入れ、
切手を貼らずに、○月○日（○）までに投函してください。

また市役所社会福祉課、市民福祉センター又は各地区市民活動センターでお預かりすることもできます。